

日本と外国にルーツをもつ私たちの 「進路選択」

今年は、9名・5カ国のルーツをもつ学生たちが登壇。
「日本」と「親の出身国」のダブルルーツをもつ若者が、
自分の選んだ進路と研究について語ります。
ぜひご参加ください。(入場料：無料)

※お問い合わせ・お申し込み先：さぽうと21事務局
TEL：03-5449-1331 E-mail：info@support21.or.jp

日時 2017年2月26日(日)
13:30~17:00

会場 国際文化会館 講堂

東京メトロ 日比谷線 六本木駅 徒歩10分(3番出口)
都営大江戸線 麻布十番駅 徒歩5分(7番出口)
(東京都 港区 六本木5-11-16)

2016年度 坪井基金 支援生 私たちが発表します!



おおにし
大西 アリネ ミキ

山梨大学 医学部
(ブラジル)
生活環境と人種と病気



あきやま つよし
秋山 強志

東京理科大学大学院 工学研究科
(元ベトナム)
さぽうと21との出会い



あおやま りゅうじ
青山 龍司

東京大学大学院 新領域創成科学研究科
(元カンボジア)
タンパク質研究



よしみ
レバザ 義美

筑波大学大学院 数理物質科学研究科
(ペルー)
高エネルギー研究室での研究



むとう まさひろ
武藤 真弘

慶応義塾大学大学院 理工学研究科
(元ベトナム)
機械学習や人工知能



バレンスエラ テジョ エド

神戸大学大学院 人文学研究科
(ペルー)
米国におけるマイノリティ文学



オルム デザイア チリマ

国際基督教大学 教養学部
(ナイジェリア)
定住外国人二世のアイデンティティ



グエン タット トルン

東北大学大学院 理学研究科
(ベトナム)
分子は揺れている



いちしま
市島ホセ

京都大学大学院 医学研究科
(ペルー)
研究室紹介 (iPS 細胞)

2016年度 坪井基金 支援生が、 日本学術振興会^{*} 特別研究員に選ばれました!



いちしま
市島ホセさん (ペルー)

京都大学大学院 医学研究科 医科学専攻
博士後期課程 2年

日本学術振興会 とは……

天皇陛下の御下賜金により1932年に創設。
優れた若手研究者に対して、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与え、研究者の養成・確保を図る制度です。

私の研究室は iPS 細胞研究所の臨床応用部門に所属し、人工多能性幹細胞である iPS 細胞を用いた疾患の病態再現を行っています。主に取り扱っている疾患は、発症の原因や治療法がまだ決まっていない難病です。その中でも、私は神経疾患を解析対象にしています。

私のメインテーマは、iPS 細胞から神経細胞を作り、神経疾患の原因となる遺伝子がどのように関わっているのかを解析することです。原因遺伝子の働きは、iPS 細胞の中にある時と神経細胞の中にある時とは若干変わります。この違いは大変興味深く、病因の仕組みを知る上で重要なカギになると思われます。

日々の研究では必ずしもよい結果ばかりではありませんが、私の研究成果が、いずれ病気の原因解明や治療法の開発に繋がることを期待しながら頑張っています。将来は、国の研究機関に研究員として勤めることを希望しています。

第4回 エクセレントNPO大賞「市民賞」を受賞いたしました

「エクセレントNPO」を目指そう市民会議は、市民と民間非営利組織のつながりによる強く豊かな市民社会を目指して、「市民の参加機会」「課題解決力」「組織の持続性」の3つの観点において、優れたNPOを毎年表彰しています。

2016年12月、応募した66団体の中から当会が「市民賞」に選ばれました。授賞理由として、設立以来、活動の殆どがボランティアによって支えられてきたこと、現在も100名がボランティア登録しており、ボランティア運営についての実績、評判や社会的信頼がしっかりと定着していることが挙げられています。この賞は、当会の活動を長年支えてくださっている会員・寄付者の方々や、学習支援室の運営にご協力頂いている多くのボランティア講師の方々に贈られた賞だと感じております。

皆様のご支援に改めて深く御礼申し上げます。今後も多くの方々にご参加頂ける、開かれた場を目指してまいります。



大賞受賞者の皆さんと一緒に



学習支援室、いつもの風景



新年恒例の「ボランティア顔合わせ会」には今年も総勢65名がご参加

より多くの「難民等定住外国人」の自立を支援するために より多くの「ボランティア」のお役に立てるように

平成28(2016)年度も、文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業／地域日本語教育実践プログラム A」に採択され、「体験を通して学ぶ日本語教室」「定住外国人の生活力向上を目指したワークショップ」の開催、「日本語教室ボランティアのためのブラッシュアップ講座」「スキルアップ講座」「理解を深める講座」の実施、動画教材の作成など、通常事業の中ではカバーできない様々な取り組みを続けています。

今年度の事業の特徴は、「アウトリーチ」と「連携」です。

ここ数年、文化庁委託事業の中で、さぼうと21を一つの拠点として「ワークショップ」を続けてきました。「ワーカーズ・コレクティブ生活クラブ FP の会」のご協力を頂き、すでに「知っておきたいわが家の教育費」、「知っておきたい日本の年金・医療制度」など、生活者にとって必要な様々なテーマについて、「やさしい日本語+ふりがな付」のプレゼンテーション用資料、説明冊子が完成しています。せっかくの有益な資料を、より多くの在住外国人の方々に利用して頂ければと思い、今年度は、それを必要とする方々のもとに、こちらから出向いて(アウトリーチ)、ワークショップを行うこととしました。日頃の活動の中で少しずつ築いてきた他団体とのネットワークに助けられ、福島県いわき市など3か所で「出張講座」を行うことができました。まさに「連携」の賜物だと感じています。

また、文化庁委託事業の中では恒例となった「理解を深める講座」、「地域日本語教室ボランティアのためのブラッシュアップ講座」は、ここ数年、毎年のように参加して下さる方々が何人もいらっしゃいます。どちらの講座も単なる「学びの場」であるだけでなく、各地域で活躍する日本語学習支援のボランティアの方々が、共感できる仲間と出会い、在住外国人への理解を深めるべく考え、日頃の活動の経験や悩みを語り合う、貴重な「場」となりつつあります。

「沢山の出会いを作って頂きその中で多くを学ばせて頂き本当に有り難うございました。」「今後も納得できる内容を期待します」

(「ボランティアのためのブラッシュアップ講座」参加者アンケートより)

「今後、ダイバーシティを実現していくためにも、多文化理解を深めていくためにも、継続して展開していただきたい」「家族のテーマ(子世代+親世代)を扱えるのは、子ども、親の両方の学習支援をしているさぼうと21ならではのと思いました。大変勉強になる講座をありがとうございました」

(「理解を深める講座」参加者アンケートより)

参加者が講座に参加することで元気をもらって会場を後にして下さる、そんな講座を継続できていることは、長年日本語教育や学習支援の現場をもち、活動を続けてきている団体にとって、大きな喜びです。



ホームページでも公開している「知っておきたいシリーズ」教材(生活力向上のためのワークショップ)



今回のテーマは「教材を考える」、受講者が主役の参加型講座健在(ブラッシュアップ講座)



テーマは「異国日本を生きる私、そして私と家族」、明治学院大学「内なる国際化プロジェクト」との共催で実施(理解を深める講座)
【写真】講師の一人、臨床心理士の田中ネリ先生のルーツはペルー。ダイバーシティのパーに敬服

コラボ企画!

さぼうと21 × LUSH 「チャリティパーティー」

英国発の化粧品ブランド LUSH (ラッシュ) 様とさぼうと21がコラボし、日本で暮らす難民を支援するイベント「チャリティパーティー」を実施しました。イベント中に購入された対象商品の売り上げが、本イベントのパートナー団体である“なんみんフォーラム (FRJ)”等に寄付されるという取り組みです。

1月8日(日)、LUSH 代官山店にさぼうと21のミニブースを設け、ブースに立ち寄ってくださった方に、難民支援の活動についてお話をしました。代官山という土地柄からか、国際色豊かな雰囲気が店内にもあふれ、外国人のお客様も多く、様々な方がブースを訪れて熱心に話を聞いてくださいました。また、当会のボランティアの方も遊びに来てくださり、皆さんの温かいお気持ちにとっても励まされた一日となりました。ありがとうございました。

本イベントの開催にあたり、企画から運営までご協力くださったLUSH 代官山店スタッフの皆さんに心より御礼申し上げます。今回のご寄付は、難民等定住外国人の自立支援のため、大切に使用させていただきます。



商品をご購入くださった方々と一緒に

2017年度 年会費について ～4月から新年度となります～

今年も難民等の外国出身者の学習支援や相談事業、就学支援(給付型奨学金)を通じて、生活上さまざまな困難を抱えている方々に寄り添う活動を続けてまいります。昨年末にエクセレントNPO大賞「市民賞」を頂きましたが、会の活動をより多くの方に身近に感じて頂けるよう努めてまいります。

会員の皆さまへ

4月～翌3月が会員年度となっております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ご寄付について

毎月定額を自動引き落としさせて頂くマンスリーサポーター制度もございます。お問い合わせくださいませ。

※お問い合わせ先：さぼうと21事務局 (TEL.03-5449-1331)



Newsletter

Support21 Social Welfare Foundation

Vol.62 2017.2

社会福祉法人 さぼうと21

理事長 吹浦 忠正

社会福祉法人さぼうと21は…

日本国内で生活するうえで困難をきたしている難民やその家族、定住外国人および元外国籍の人々の相談に乗り、また自立支援活動を行う社会福祉法人です。

認定NPO法人難民を助ける会 (AAR JAPAN) を母体に、その国内事業を受け継ぎ、厚生省 (当時) 認可の社会福祉法人として1992年に設立されました。

「困った時はお互い様」をモットーに、日本国内で政治・宗教に中立な立場で活動しています。

学業継続のための経済支援を中心に、生活困窮者に対する幅広い生活支援を実施しております。

私たちの活動を応援して下さる方を求めています!

■会 員：法人会費50,000円/個人会費5,000円

■ご寄付：随時受付

■マンスリーサポーター：随時受付

会費・ご寄付とも税法上の優遇措置が受けられます

◆会費・寄付のご送金口座◆

ゆうちょ銀行	振替口座：00180-7-25470 加入者名：社会福祉法人 さぼうと21 ※通信欄に会費または寄付とご明記ください
三井住友銀行	目黒支店(普) 851872 名義：社会福祉法人 さぼうとにじゅういち
みずほ銀行	目黒支店(普) 1180279 名義：社会福祉法人 さぼうとにじゅういち ※銀行振込み後は事務局までご一報ください

お問い合わせ

社会福祉法人 さぼうと21

住所：	〒141-0021 東京都品川区上大崎2-12-2ミズホビル6階
TEL：	FAX：
03-5449-1331	03-5449-1332
E-mail：	URL：
info@support21.or.jp	http://www.support21.or.jp

